



# 紀伊民報

## 診察室の午後

白浜はまゆう病院  
泌尿器科部長 川嶋 秀紀

ある秋、留学中にお世話になったアメリカの恩師S教授が来日された。関西空港の到着ゲートに大きなスーツケースとともに現れたとても背の高い先生は、私を見つけて懐かしい笑顔で大きく手を振られた。一緒にシルクロードを旅して以来であった。

### <44> 京都の石庭

わが家に宿泊していただいた先生と、翌日、当時私の勤めていた大学に向かった。泌尿器科学教室で、教授や医局員を紹介し、研究室や私の部屋を案内した。夕刻、医学部の階段教室は、学生も含めた聴講者でいっぱいになった。先生が執筆されたアメリカで高い評価

素晴らしく、講演後のレセプションも先生を囲んでにぎやかであった。日曜日に、先生と私は京都に向かった。紅葉の色づいた東福寺では時雨に遭った。雨上がりの祇園では、澄んだ空気の中、白川の川面が輝き柳の枝が揺れている。古い路地を歩く華やか

な舞妓(まいこ)を見つけ、先生はうれしそうだった。銀閣寺の幻想的な石庭を歩き、「哲学の道」を下りながら、私たちの話は尽きなかった。南禅寺経由でさらに歩き、祇園の白川沿いの旅館に宿を取った。先生は、二間続きの部屋専用のヒノキのお風呂をたいそうお気に召したようだった。

旬の料理を逐一運んできた着物姿の若おかみは、英語が堪能で、会話が弾んだ。江戸末期に建てられた古い建物の簾(すだれ)の向こうで日が暮れていた。木製の雨戸とガラス戸、そして縁側と障子の内側にある和室は、あたかも過去にタイムスリップした別空間で、先生のお宅を訪問できるのは、いいことになるだろう。

の病態生化学の本の日本語訳が出ていることもあり、学生にも良い機会であると考え、聴講とリポートを「医学英語」の単位となるようにした。先生の講演は

に歩き、祇園の白川沿いの旅館に宿を取った。先生は、二間続きの部屋専用のヒノキのお風呂をたいそうお気に召したようだった。旬の料理を逐一運んできた着物姿の若おかみは、英語が堪能で、会話が弾んだ。江戸末期に建てられた古い建物の簾(すだれ)の向こうで日が暮れていた。木製の雨戸とガラス戸、そして縁側と障子の内側にある和室は、あたかも過去にタイムスリップした別空間で、先生のお宅を訪問できるのは、いいことになるだろう。

年代に初来日した時、龍安寺の石庭を見て感動し、「庭を前に静かに座っていき、ひとしずくの涙が頬を伝った」と語られた。翌日、私たちは清水寺、知恩院、青蓮院を訪ねた後、龍安寺に向かった。その方丈の回廊のぬれ縁に腰を下ろし、古い土塀で囲まれた枯れ山水庭園の、砂の紋様と石の島を前に、しばし時を忘れた。心がとき澄まされていくようであった。月曜日の夕刻、訪れる人は少なかった。